

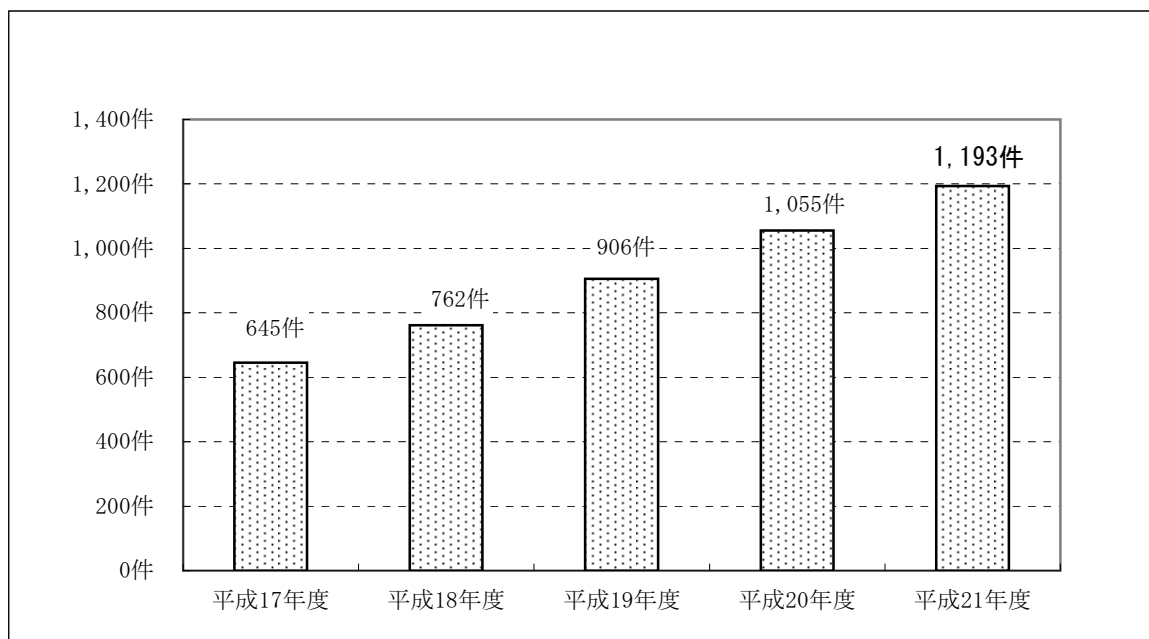
(2) 「危害」に関する相談

(「平成21年度消費生活相談概要」54頁～55頁)

- ① 「危害(*)」に関する相談は過去5年間でみると増加傾向にある。平成21年度においては、1,193件の相談が寄せられ、前年度に比べ13.1%の増加であった。(図-6)

(*) 危害 : 商品・役務・設備等に関連して、身体にけが、病気等の疾病(危害)を受けたという相談

【図-6】「危害」に関する相談件数の推移



- ② 「危害」の原因となった商品・役務は、「エステティックサービス」、「医療サービス」、「基礎化粧品」、「パーマ」など美容や美容医療に関するものが多い。(表-4)

【表-4】「危害」に関する相談の商品・役務項目 上位5位(平成21年度)

	商品・役務項目	件数	主な危害内容
1	エステティックサービス	99	皮膚障害、熱傷、痛みや充血等の諸症状等
2	医療サービス	94	皮膚障害、熱傷、その他の傷病及び諸症状等
3	外食	64	消化器障害、中毒等
4	基礎化粧品	56	皮膚障害等
5	パーマ	45	皮膚障害、火傷等